



自他のウェルビーイングの 実現を目指す学びの構想



岩手大学教育学部附属中学校 第16期研究 趣旨説明

2024年5月31日

0. はじめに



予測困難な時代の「今」だからこそ

自分の在り方を自分で考えられる人間に

現代・未来を生きる人間としてどう在りたいか、
自分事として考えられる人間（生徒）

生徒に伴走し、相似形を成せる教師
（共に学び続け、成長し続けられる教師）



0. はじめに



予測困難な時代の「今」だからこそ

自分の在り方を自分で考えられる人間に

現代・未来を生きる人間としてどう在りたいか、
自分事として考えられる人間（生徒）

生徒に伴走し、相似形を成せる教師
（共に学び続け、成長し続けられる教師）



1. 研究主題設定の理由



前次研究の課題

国	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
本校	思考力等		協調性等	主体性等
	問題解決及び創造をするために、自分自身の既有的知識や概念、技能を関連付けながら思考する力		相手意識や思いやりをもちながら他者との対話や協働を行い、自分の考えを再構築したり、合意形成を図ったりする力	身の回りの事象から価値や問題を見出す感性と力。自己を認識しつつ、探究心や好奇心をもって最後まで問題と向き合う態度

- 主体性の低下
- 自己効力感も低い傾向にある

R4講演講師（堀田先生）より

- 授業内で教師が話す時間の多さ
- 「枠付け」や「細かな指示」など教師のコントロールが過度

1. 研究主題設定の理由



教職員が願う「生徒の理想の姿」

学ぶ力
思考力

レジリエンス
挑戦

主体性
当事者意識

他者尊重
道德観

協働
社会との
つながり

自己実現
自己受容

1. 研究主題設定の理由



生徒の実態 —質問紙の回答傾向

- 教科の枠を超えた「学び方」は積極的割合が高い
- 地域や社会への貢献意欲が高い
- ▲「将来へ夢や目標」「利他心のある人間像」は積極的肯定の割合が低く、積極的否定の割合が高い



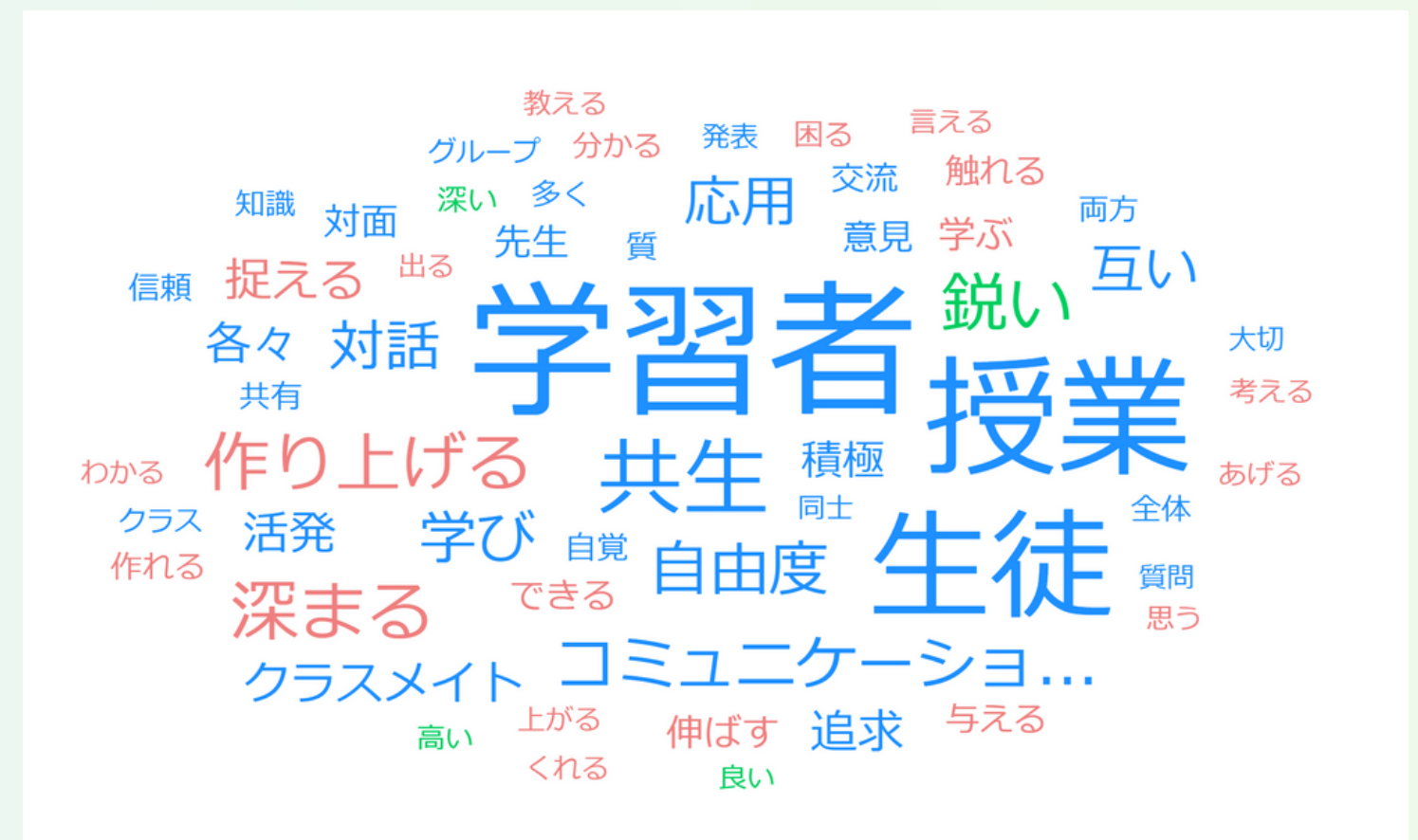
→学習への「やらされ感」や自己選択の余地が少なく、目的意識が薄れてしまうからか？

1. 研究主題設定の理由



生徒の実態 —生徒が考える「よい授業」

- 教師による一方的な教授ではなく、生徒と教師が「共に創り上げる」
- 誰一人取り残さず全員で学ぶ
- 教科の見方・考え方を働かせて深い学びへと昇華する
- 生徒主体であり、教師は生徒の学びを支え、共に学ぶ伴走者である



→ 「教師が目隠しをして目的地に連れていく」ことから脱却し、共に目的地を見据え、目指す姿に向かいたい

1. 研究主題設定の理由



今日的教育課題・流行

第4期教育振興基本計画（概要）

「2040年以降の社会を見据えた
持続可能な社会の創り手の育成」

「日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上」



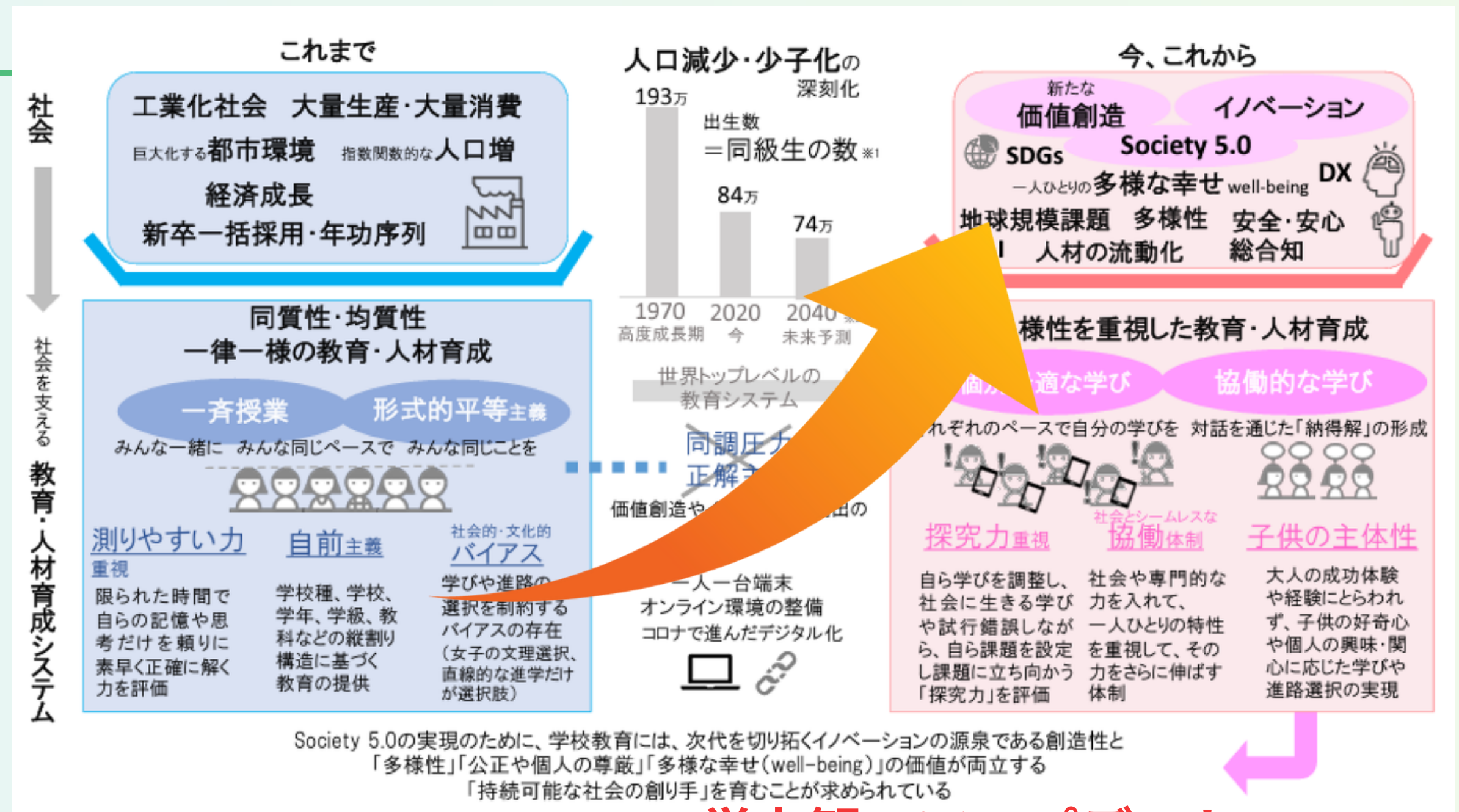
1. 研究主題設定の理由



今日的教育課題・流行

Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」

「探究力」（測りにくい力）を評価する



学力観のアップデート

研究主題



設定理由を踏まえて

自他のウェルビーイングの実現を目指す 学びの構想



2. 育成を目指す資質・能力

知識及び技能

- ・ 個別の知識を構造化、体系化して捉え、問題場面において活用する力
- ・ 言葉を吟味し、場に応じて適切に扱う力

思考力、判断力、表現力等

- ・ 自分自身や他者、社会等の在り方を問う力（常識を疑い、情報に騙されないリテラシー、批判的思考力、論理性）
- ・ 探究のサイクルを自力で回し高まっていける力

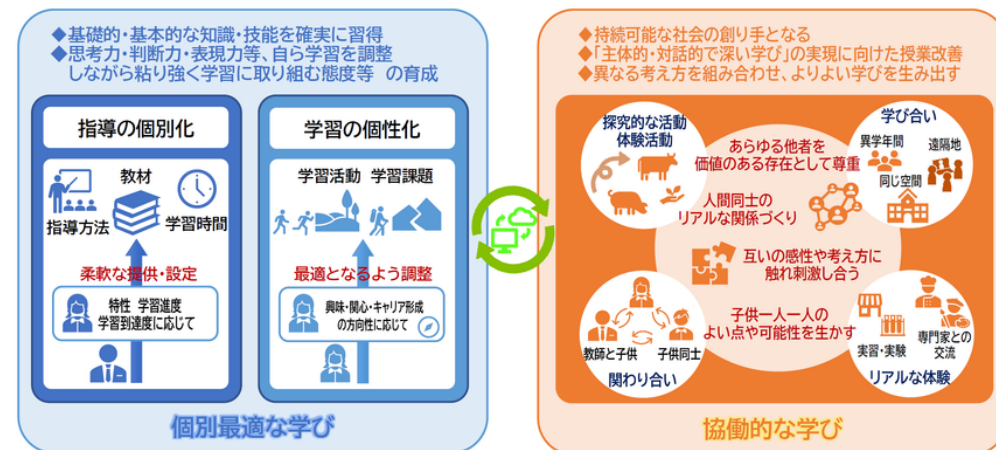
学びに向かう力、人間性等

- ・ 多様な他者と協働する力
- ・ 自律的に学び続ける姿勢

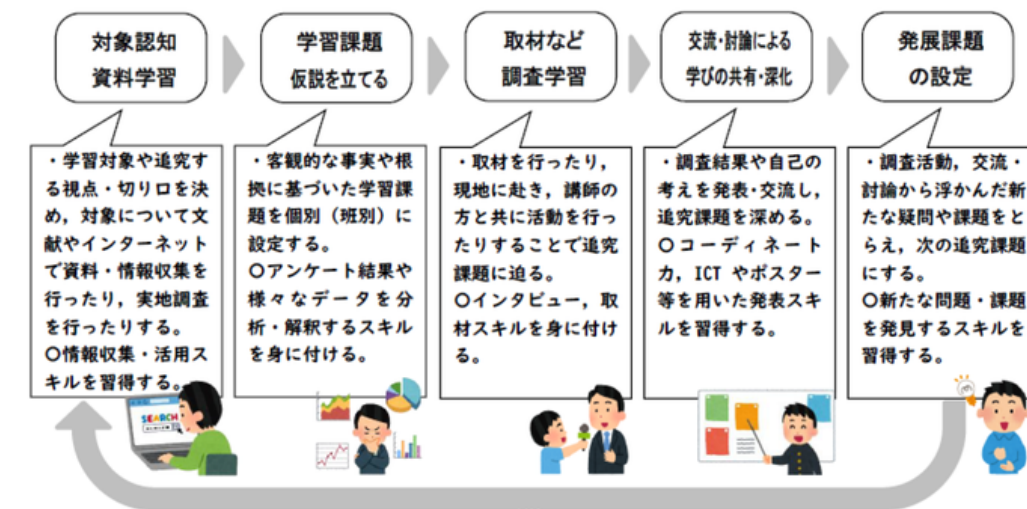
3.研究内容



視点① 個別最適な学びと 協働的な学び



視点② 教科等横断的 資質・能力の育成



3.研究内容



研究リーフレット集
自他のウェルビーイングの実現を
目指す学びの構想

令和6年5月
岩手大学教育学部附属中学校



研究リーフレット集
「自他のウェルビーイングの実現を
目指す学びの構想」

各教科・領域研究のページを
ご覧ください

校内研・グループ研（互見授業）より



不断の授業改善のために（実際の議論の言葉から）

- 本当にこれは言語活動と言える？
- テーマ設定は生徒の思考を狭めるのでは？
- 授業の中で本当に生徒は成長できたのか？
- 教師の指導によって生徒は伸びたのか？
- 教科の見方・考え方をより働かせるためには？

世界がぜんたい幸福にならないうちは

個人の幸福はあり得ない



4. さいごに

ともに岩手の子どもたちを育てるために

よく考え 誠をもつて 働く人間



「今」の最大限を



岩手大学教育学部附属中学校
研究部